

「2015年9月台風17・18号災害に関する緊急調査報告会」を開催しました(2015/9/16)

テーマ：緊急災害調査、2015年9月台風17号・18号

9月16日(水)、東北大学災害科学国際研究所・演習室A(仙台市青葉区)において、「2015年9月台風17号・18号災害に関する緊急調査報告会」(主催：東北大学災害科学国際研究所、共催：土木学会東北支部H27年東北水害調査団)を開催しました。当研究所では、今般の台風災害について、研究所発足以来はじめて「災害調査対応本部」を9月11日(金)に設置し、全所的な調査研究の緊急体制を配備しました。今回の報告会は、災害調査対応本部の設置から当日までにおける、最新の調査結果や本部活動の内容について報告するものです。

報告会の冒頭に今村文彦 災害科学国際研究所 所長より、台風17号・18号に関する被害の概要、当研究所の対応、現地調査チームの派遣状況などを説明したのちに、今回の台風災害に対する当研究所の中長期的な研究方針についての提案がありました。当日は、100名ほどの方々にご来場いただき、プログラムの最後には質疑応答・意見交換・情報共有が活発に行われました。当日の発表者と題目は以下の通りです。

「IRIDeS 災害調査対応本部の設置・運営と情報分析班の活動」

佐藤 翔輔 助教(情報管理・社会連携部門 災害アーカイブ研究分野)

「現地調査報告：宮城県内における洪水氾濫」

呉 修一 助教(災害リスク研究部門 災害ポテンシャル研究分野)

「土砂災害の被害について～太白区羽黒台のり面崩壊を中心に～」

森口 周二 准教授(地域・都市再生研究部門 地域安全工学研究分野)

「マッピングチームの活動報告～河川水位情報の解析結果を中心に～」

有働 恵子 准教授(災害リスク研究部門 災害ポテンシャル研究分野)

「民間部門・ボランティア活動に関する調査報告」

寅屋敷 哲也 助教(人間・社会対応研究部門 防災社会システム研究分野)

「衛星画像解析および二迫川破堤地点の3次元マッピング」

マス エリック 助教(災害リスク研究部門 広域被害把握研究分野)

総合司会：今村文彦

その他の情報は、2015年9月台風17・18号災害に関する災害科学国際研究所特設ページ「平成27年9月台風17号・18号に伴う洪水・土砂災害(2015年9月)」

http://irides.tohoku.ac.jp/topics_disaster/ibaraki-tochigi-flood.html をご覧ください。



報告会の様子